

ドクモスカウト2011募集要項

- **内容**：2011年度の「釣り情報」読者モデルをオーディション形式により決定し、釣りファンの拡大と女性アングラー育成のお手伝いをさせていただきます。
- **応募条件**：自薦他薦を問わず、18歳以上35歳未満の釣り好き女性に限りです。
- **選考方法**：毎月1名、書類審査通過者に取材釣行していただき、つり情報発行人、ドクモスカウト事務局、カメラマン、船長の4人により基礎点を採点。12名の女性アングラーがそろったところで、最終審査として全員で仕立船釣行し、グランプリを選出します。
- **応募方法**：WEBからの応募は、つり情報 WEBサイトにある「ドクモスカウト2011」のページから。

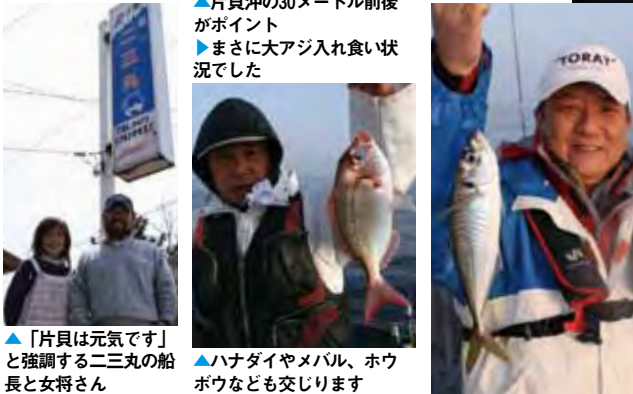


ケータイからの応募はコチラ→

さらに詳しく…



▲片貝沖の30メートル前後がポイント
▶まさに大アジ入れ食い状況でした



▲「片貝は元気です」と強調する二三丸の船長と女将さん
▲ハナダイやメバル、ホウボウなども交じります

真帆の感想 ♥ こんな大きいアジ、釣るのも見るのも初めて、とにかくびっくりしました。これなら友達も誘ってたら大喜びすると思います。いい経験させてもらって感謝です。

二三丸船長の目 Captain

(テクニック中心に20点満点で採点)
小倉 忠船長
16点 ● 初めての出来栄は、もう少しタックルの扱いがうまくなってほしい。

総合得点 Score 78点
100点満点
※この点が一次審査の持ち点になります

採点者の目 Marker

カメラ担当 **井坂 英樹**
17点 (ビジュアル中心に20点満点で採点)

評価 ● スノボのアウトナーを着るセンスは、帽子で表情が隠れてしまうのが残念かも

A: 情熱度



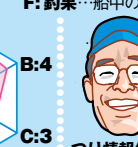
ドクモスカウト事務局代表 **徳永 隆也 23点**
評価 ● 陸っぱりから船に転向したという彼女、月2回の釣行のわりに初めはぎこちなかったが、最後は様になってました。今度はもう少し大きいクーラーを用意しないと。

B: 上達度



つり情報代表 本誌発行人 **根岸 伸之 22点**
評価 ● あれだけの入れ食い、今回は条件がよすぎたので、多少辛めで採点した。ちょっと照れ屋なのかな、もう少し賑やかに釣ってくれたらと感じた。最後まで手を休めないところは感心した。

C: 知識度



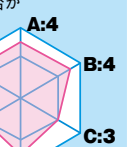
乗船者全員、これ以上釣ってもクーラーに入らないと衆議一決し、うれしい早揚がりとなったのだ。船中釣果は25〜42センチのアジを20〜41尾、ハナダイ0〜3枚。彼女はアジ40尾にハナダイ1枚で次頭の快挙。

D: センス



入もシャクリも取り込みも様になってくるから不思議だ。船長は少し食いが遠のくとポイント移動、するとまた入れ食いパターンの繰り返し。日が高くなるハナダイやメバルなども交じってきて、ますます賑やかになってくる。

E: お騒がせ度



九十九里片貝港も東日本大震災で被災された所の一つ。今回訪れた二三丸も、待合所や自宅が津波の被害を受け、4月1日からようやく出船にこぎつけた。訪れたのは4月11日。今まで二三丸が船を着けていた旧港周辺は所どころ砂ががぶり、港内の海底清掃も終わっておらず、すべての釣り船が新港からの出船となっていた。

F: 釣果



今回登場していただくのは濱崎真帆さん。まだ釣り歴は2年



▲アジ釣りの醍醐味が、この多点掛け



▲袋人生初のハナダイです



▲○○○○○○
○○●○○○○
○○○○●

と言いつつ、周りにはなんと30センチ級の大アジの3尾掛け。いきなりの快挙に周囲の釣り客もびっくり。 「こんな大きなアジは初めて見ました」と一番喜んだのはもちろん彼女だった。 それからは船中でも投入するたびに30センチ前後のアジが掛かってくる。まさに入れ食い。魚が釣れてくれるとやはり上達も早い。徐々に投



♥ 息が白く見える寒さの中、苦勞して釣った1尾目。うれしさが伝わってきます

ドクモスカウト DOKUMO 2011



参加者 大募集

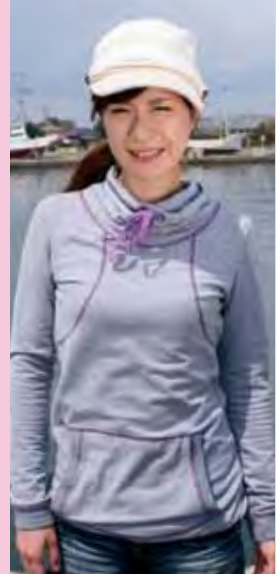
第1次審査 vol.8
九十九里片貝沖の
アジ、ハナダイ
九十九里片貝港
二三丸

写真◎井坂英樹 文◎本誌編集部



8th チャレンジヤー
濱崎 真帆さん
はまさき まほ

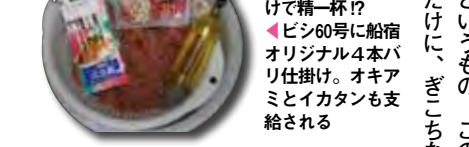
- 1982年生まれ28歳
- 職業 ヘアメイク
- 趣味 釣り、旅行、ペット



● 今月2回のペースで釣りに行っています。釣りに対する情熱は負けません、もっと女性アングラーを増やして楽しく釣りに行ければと思います。



▲大アジの多点掛け……ギューと曲がる竿を支えるだけで精一杯!?



「重い、重いです」

「今月2回のペースで釣りに行っています。釣りに対する情熱は負けません、もっと女性アングラーを増やして楽しく釣りに行ければと思います。」

▲大アジの多点掛け……ギューと曲がる竿を支えるだけで精一杯!?
▲ビシ60号に船宿オリジナル4本バリ仕掛け。オキアミとイカタンも支給される

くらいだが、月2回の釣行は欠かさないとすっきり釣り釣りにハマった「釣りガール」だ。4時半過ぎ、総勢6人の釣り客とともに出船。本来、釣り物はイサキだったが、2日前に引き荒れた南西風のために水温が急降下して望み薄。ということで手堅いアジ、ハナダイが今日の釣り物である。 30分ほど走り、5時半になって釣り開始。水深30メートルでタナは26〜18メートルまで探ってというもの。この釣りは初めてだけに、ぎこちない手つきで釣りに始める。濱崎さんに小倉忠船長がやさしくアドバイス。すると1投目から大きく竿が引き込まれた。「重い、重いです」